

◇◇◇〔緊急事態を想定した協力活動訓練〕◇◇◇

○平成24年度 緊急事態を想定した協力活動訓練

東海ノア協定に基づく平成24年度の協力活動訓練は、上期に茨城県の無通告通報訓練が開催されることを想定し、この訓練に連携した東海ノア通報訓練を計画しましたが、県の通報訓練が未実施であったことから、下期に予定していた東海ノア総合訓練と上期の通報訓練を併せて実施することで改めて計画し、東海ノア総合訓練として実施しました。

〔開催日〕 平成25年1月30日（水）

〔想定発災事業所・事故現場〕

日本原子力研究開発機構 東海研究開発センター
原子力科学研究所 NSRR原子炉棟（管理区域）

〔事故想定〕

NSRR原子炉棟（管理区域）にて実験用の照射済燃料を封入した輸送カスクのクレーン作業中に、吊り具が外れて輸送カスクが横転、衝撃により輸送カスクのシャッターが開き、照射済燃料からの放射線により炉室内ガンマ線エリアモニタが発報、原子炉棟北側の風除け室の非管理区域で、外部放射線が政令で定める値（5mSv/hr）に到達した。

〔訓練対応者〕 59名（各事業所内通報受発信対応等）

訓練は、原子力科学研究所にて実施の「平成24年度第2回非常事態総合訓練」に連動することで原子力科学研究所を発災想定事業所とし、原電東海に緊急事態協力活動本部を設置して、通報連絡を主体とする訓練を実施しました。

協力活動本部員の本部出動については、各事業所内要員への連絡、出動要員名の本部連絡までとし、活動本部への参集については模擬としました。



活動本部（原電東海）における訓練の様子